

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

NPO 法人グラウンドワーク笠間

1. 総括

グラウンドワーク笠間は、昨年3月に節目の10年目を迎えましたので、本年度は新たな20周年に向けてみんなで決意も新たに、確実な第1歩を踏み出すこととしました。コロナ問題は、引き続き厳しい環境下ではありましたが、年度末の3月に入ってようやく小康状態になりました。5月8日からは、インフルエンザ並み「5類」移行が決定しました。2022年度も、設立趣旨である「まちづくり」と「子どもから高齢者まで多様な市民の居場所づくり」に傾注してきました。具体的には、①「まちの駅笠間宿」の賑わい創出 ②「ふれあいサロンかさま〜る」の活性化 ③「笠間ふれあい大学」の運営 ④「笠間ふれあい TV」の運営 ⑤「ともだちハウス」の運営 ⑥「インフォメーションセンター」の指定管理等を重点に取り組んできました。

この結果、2022年度の事業収益は18,256千円、正味財産増減額は△623千円となりました。「ともだちハウス(放課後児童クラブ)」の減価償却費1,233千円の負担が影響しました。

2023年度は、コロナ問題がほぼ終息するので、多様な活動を推進し「子どもから高齢者まで多様な市民の居場所づくり」に鋭意頑張る所存です。「人生100年の時代」と言われるようになりました。これからも高齢者の矜持をもって、加齢で老いることなく微力を尽くすつもりです。高齢者は「教養(今日も用事がある)と教育(今日も行くところがある)」が必須と言われます。問題意識を共有する志の高い仲間と一緒に、楽しく社会貢献主眼の汗を流したいと思えます。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2. 主な事業内容

事業名 (定款記載)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者人数	(D) 受益者範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
①講演会開催 ・講座開設	・「笠間ふれあい大学」の開設 月2~3回のペースで開催 ・音楽科の継続(健康カラオケ)	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 11人	(D) 笠間市民 (E) 750人	580
②インターンシ ップ受入と産学連 携による協働	・インターンシップ受入 ・教育体験ツアーの受入 ・産学連携の取組み	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 9人	(D) 大学生 (E) 延べ30人 (3人)	39
③「まちの駅笠間 宿」賑わい創出	・フリーマーケット定期開催 ・多様なイベント開催(春夏秋冬) ・「幸せの黄色い広場」の活性化	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D)笠間市民等 (E)12,000人	500
④屋内イベントの 開催と活性化	・「ふれあいサロン」の活性化 ・音楽イベント開催 ・ストリートピアノの開放	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D)笠間市民 (E)350人	272
⑤「インフォメー ションセンター」の 管理運営	・サービス機能と情報発信の強化 ・ママさんとシニアの雇用創出	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 5人	(D)来場者 (E)5,500人	3,309
⑥観光客の誘致	・首都圏からのツアー誘致 ・インバウンドの取組み ・提案型ツアー誘致	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 14人	(D)来場者 (E)18人	100
⑦「ともだちハウ ス」の管理運営	・安心・安全な管理運営 ・アウトリーチ活動の推進 ・4年目以降の持続対策	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 10人	(D)小学生受入 シニア雇用 (E)18人	13,536
⑧情報発信力 の強化	・「笠間ふれあい TV.」の定着 ・多様な市民の楽しみ創出 ・多面的情報発信	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 4人	(D)笠間市民 (E)2,500人	625

合計 18,961千円